



特定非営利活動法人  
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

---

# 2023年度 活動報告書

E-mail : [info@janppplus.jp](mailto:info@janppplus.jp)  
WEB : <http://www.janppplus.jp>

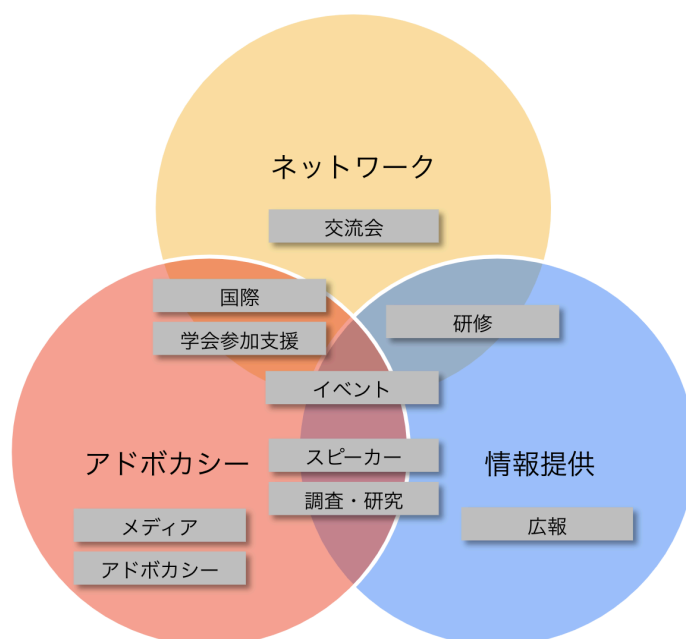
# 活動目的とミッション

## JaNP+の活動目的

HIV陽性者が秘密を抱えることもなく、社会的な不利益を受けることもなく、HIV陽性者として、自立したあたりまえの生活ができる社会を目指します。

## JaNP+のミッション

1. 情報提供活動  
医療、福祉、保健、政治などの幅広い分野から、HIV陽性者の生活に関する情報を、HIV陽性者独自の視点で選び、伝えています。
2. アドボカシー活動  
社会に根強く残るHIV/AIDSへの偏見や差別をなくし、HIV陽性者であることから生じるさまざまな不利益をなくすよう、社会に働きかけています。
3. ネットワーク事業  
国内外のHIV陽性者グループと、交流や情報交換を行います。多くのグループが連携、協力しあうことで、より大きな声へと変えていくことが可能となります。



# HIV陽性者スピーカー派遣

---

HIV・エイズに対する偏見へのおそれから、HIV陽性者が自身の感染の事実を周囲の人に伝えることはハードルが高く、慎重にならざるを得ません。当事者からすれば「言わなければ分からない」ので、伝えなければならない相手や状況も限られます。

しかし、HIV陽性者と実際に対面したり、話を聞いたりする機会がなければ、多くの人々にとってHIV・エイズは「他人事」のままです。このままでは、HIV・エイズに対する恐怖や不安などの過剰なネガティブ・イメージは変わらず、偏見や差別の問題はいつまでも解消されないという悪循環が続くことになります。

実際、HIV陽性者の中には、自分のできる範囲で身近な人たちにHIV陽性であることを伝えている人も少なくありません。そして伝えられた人は、その時点で初めてHIVを「身近な問題」として認識し、自分が抱いていた従来のHIV・エイズやHIV陽性者に対するイメージが変わるきっかけを得ています。

こうした小さなカミングアウトを積み重ね、リアリティを広げていく取り組みが、HIV陽性者スピーカー派遣活動です。自身がHIV陽性者であることをオープンにできる人は決して多くありませんが、JaNP+のスピーカーは、テレビや新聞などのメディアだけでなく、講演会や研修会、少人数の集まり等を通じて、全国各地で等身大の語りを提供しています。

## 派遣実績

2023年度は、計11件の派遣依頼に応じ計8名のHIV陽性者スピーカーを派遣し、合計で約2,500名の方に聴講していただくことができました。

### <派遣実績詳細>

日付	依頼主体	催事名
2023/06/22	広島大学病院 エイズ医療対策室	2023年度 第1回・第2回 看護師のためのエイズ診療従事者研修
2023/07/10	富山県立大学 看護学部	4年次前期 感染看護学における当事者参加授業
2023/07/21	朝霞市役所 生涯学習・スポーツ課	人権問題講演会
2023/08/18	公益財団法人エイズ予防財団	令和5年度 HIV検査相談研修会
2023/09/11	順天堂大学大学院 医療看護学研究科	感染症患者に対する偏見や差別の 低減に向けた看護教育プログラム
2023/10/09	杏林大学大学院 保健学研究科	大学院講義(地域看護演習Ⅱ)
2023/10/18	国立保健医療科学院	エイズ対策研修
2023/10/20	厚生労働省	とびラボ企画 「たまには差別の話でもしようよ」
2023/11/06	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	HIV/AIDS看護師研修会
2023/12/15	杏林大学保健学部 看護学科	講義(公衆衛生看護活動論Ⅰ)
2023/12/21	MSD株式会社	HIVと共に生きる方へ向けた WEBセミナー

# HIV陽性者交流会

HIV陽性であることをオープンにしづらい日常生活において、他の陽性者と知り合い話せる機会は、なかなかありません。特に首都圏以外の地域では、その傾向は強くなります。

このためJaNP+では、交流会の自主開催や地域の当事者グループへの支援を通じて、一定の安全性が確保されたHIV陽性者の交流機会を提供することで、当事者どうしのネットワークづくりに取り組んでいます。

## 開催実績

2023年度は、従来の東京・広島に加えて、新たに新潟で交流会をスタートしました。ここ数年、北陸ではHIV陽性者の交流会活動がない状態が続いておりましたが、拠点病院のスタッフからの声かけと協力をいただき、JaNP+主催で開催することができました。改めて御礼を申し上げます。

### <JaNP+主催の交流会>

- HIV陽性者交流会  
HIV陽性者限定の交流会です。JaNP+では、HIV陽性者によるピアグループ活動が少ない地域に絞って主催しています。
- JaNP+女子会  
HIV陽性の女性限定の交流会です。
- ジャンプ！交流会  
HIV陽性者限定の交流会です。まれに、当事者のパートナーやHIV陽性ではないか活動メンバーが参加することがあります。

### <開催実績詳細>

日付	催事名	開催地	参加者数
7月	ジャンプ！交流会	東京	10
8月	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	8
12月	ジャンプ！交流会	東京	10
3月	HIV陽性者交流会 in 広島	広島	8
3月	JaNP+女子会	東京	7
のべ参加者数			43

※参加者数は当事者スタッフ1～2名を含む

# 調査・研究

当事者の立場で様々な活動を行うためには、その裏付けとなるHIV陽性者の現状やニーズを論理的・客観的に把握する必要があります。JaNP+では、ミッションに照らして重要な調査や研究について、積極的に参加・協力しています。

## HIV Futures Japanプロジェクトへの参加協力

HIV Futures Japanプロジェクトは、HIV陽性者の「自分らしくより健康的な生活の実現」と「暮らしやすい社会環境づくり」を目的とした当事者参加型です。



HIV陽性者を対象としたWEBアンケート  
URL <http://survey.futures-japan.jp/>



HIV陽性者のためのポータルサイト運営  
URL <http://futures-japan.jp/>

このプロジェクトには、全国各地からHIV陽性者が参加する「レファレンスグループ」が設置されており、調査の実施やサイト運営について当事者の意見を積極的に取り入れています。JaNP+は、これまでの活動によって培ったネットワークをもとに、レファレンスグループの運営に協力しています。また、代表理事の高久はプロジェクト全体の意思決定を担うステアリンググループのメンバーとして参加しています。

2023年度は、本調査の今後の展開についてステアリンググループおよび研究者グループにて検討会議を実施しました。

## その他の研究協力

2023年度は下記研究において研究協力者としてJaNP+の高久が参加しました。

- エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」(研究代表者:金子典代)
- エイズ対策政策研究事業「エイズ予防指針の施策実施の評価と課題抽出に関する研究」(研究代表者:白阪琢磨)
- 厚生労働省科学研究費補助金行政施策研究分野「臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業」(研究代表者:山口拓洋)

## 日本エイズ学会

代表理事の高久が日本エイズ学会の理事として理事会に参加しました。学会規約に伴う任期満了(最長4年)により、11月で退任しています。

JaNP+は、HIV陽性者の権利擁護と行政等への参加・意見反映といった観点から、HIV陽性者の視点・立場からのエイズ対策へのより積極的な関与を活動の柱としています。

広い意味ではJaNP+の活動は全てアドボカシーにつながっていますが、ここでは特に政府および行政への働きかけや協働、メディア対応についてご報告します。

## 行政・団体・企業

### <活動実績>

- 東京都エイズ専門家会議委員(高久)
- ギリアド・サイエンシズ「GAP6」プロジェクト・アドバイザー(高久)
- 部落解放・人権研究所主催「差別禁止法検討会」参加(高久)
- 厚生労働省「エイズ予防指針の見直しに向けた打合せ会」参加(高久)



## 「U=U」WEBサイト運営

日本エイズ学会のプロジェクトとして運営されていたU=Uに関する情報提供サイト (<https://hiv-uujapan.org/>) について、2023年度よりJaNP+が運営しております。

## 記事配信

JaNP+のウェブサイトにおいて記事「Mpoxワクチン接種の前に知ってほしいこと  
なぜいま「臨床研究」なのか...背景と疑問」を掲載し、メール配信を行いました。